

試験研究活動情勢報告（平成 30 年 2 月分）

【果樹試験場】

高知大学との情報交換 ～高知大学果樹園芸学研究室と交流～



発表を行う山下研究員

2月21日に高知大学果樹園芸学研究室との交流会を開催しました。この交流会は、平成12年から実施しており、双方の研究成果を紹介しています。これまでに共同研究に発展したり、課題品質の向上がみられています。高知大学からは、卒論研究について4課題が発表され、果樹試験場からは、

「‘土佐文旦’への1-ナフタレン酢酸散布が夏秋梢発生および果実肥大に及ぼす影響」、「ユズのエクボ症（仮称）の原因解明と対策の開発」の2課題を発表し、熱心な討議が行われました。今後とも高知大学と情報交換や高知県の果樹振興のため研究連携を行っていきます。

【果樹試験場】

「露地みかん」生産現地検討会



せん定講習の様子

2月20日に土佐香美農協管内で果樹研究協議会主催の「露地みかん」生産現地検討会が開催され、生産者約60名が参加しました。せん定講習を行った園地では寒害によって弱った樹がみられ、日浦専門技術員により、今年のせん定における注意点など指導が行われました。果樹試験場からは近年の登録品種や気温上昇が生理落果に及ぼす影響等の情報提供を行いました。